

**サギタリウス・チャレンジ チャレンジ部門
企画実施報告書**

タイトル	淡路島、故郷を知って、活性化。	
実施日	2016年 8月 12日（金）～ 2016年 8月 18日（木）	
代表者	学生証番号	氏名
	410988	大下 ひとみ
企画概要	「自分の故郷の今を考える機会を作ること」、「地元の農業に目を向けてもらうこと」を目的としたカフェの実施	
活動状況	<p>5月 貸店舗の決定。高校生ボランティアの募集。</p> <p>6、7月 農家アンケートの実施。カフェ内展示物制作。</p> <p>8月12日（金）から8月18日（木）の1週間 フクスケ亭にて、カフェ「淡路島さん家」を実施 総来客数 78人 総売上高 39,000円</p>	
考察	<p>来店してくれたお客さんに関しては、地元の食材のみを使ったメニューの提供、地元の農業の現状を伝える新聞の掲示により、「故郷の今を考える機会を作ること」・「地元の農業に目を向けてもらうこと」ができ、満足度が高かった。しかし、宣伝が甘く、来客数が少なかったことは反省点である。貸店舗とのコンタクトやスケジュール管理不足も反省点として挙げられる。きちんと管理ができていれば、宣伝する時間を増やすことができ、カフェの展示物のクオリティを上げられたと考えている。また、農業に目を向けてもらうため、農家の人にアンケートを取り、新聞を製作したが、時期が悪くアンケートの回収率が低かった。全てのアンケートが回収できていれば、より目を引く新聞の制作に繋がったのではないかと考えている。</p>	
所感	<p>実施場所での宣伝活動をもっと行う必要があったと感じている。この度、商店街付近で実施したのだが、せめて商店街を巻き込めるほどの仕掛けづくりをしておくべきだったと考えている。また、全体的に時間が足りなさすぎたことや就活準備等と両立できず、実現できなかったことが多くあるのがとても残念であり、心残りである。しかし、細かな計画を立てること、両立することの難しさを学ぶことができる企画でもあった。普段話すことのない、農家の人、商店街の人々と話す機会が多くあり、私自身も故郷の今について考えることができた。地元の温かさとお客さんからの地元愛を再確認でき、とても良い企画になったので、思い切ってチャレンジして良かった。</p>	